

令和3年7月26日

府中市教育委員会
教育長 平谷 昭彦 様

府中市教科用図書採択地区
選定委員会会長 小川 美樹

令和4年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書に係る
府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について（答申）

府中市教育委員会から諮問されましたこのことについて、別紙のとおり答申します。

令和4年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書
に係る府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について（答申）

令和3年7月26日

府中市教科用図書採択地区選定委員会

目 次

はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
中学校 社 会（歴史的分野）	・・・・・・・・・・・・・・・・	2

はじめに

府中市教科用図書採択地区選定委員会は、令和3年7月5日府中市教育委員会から「令和4年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書に係る府中市教科用図書採択地区における教科用図書の選定について」の諮問を受けて以来、審議を行った。

また選定委員会は、広島県教育委員会の指導のもと、「府中市教科用図書調査委員会」に、下記に示す「中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の調査研究の観点」による調査・研究を依頼し、その報告をもとに府中市の生徒の実態に即した教科用図書を選定するべく審議を行った。

学校教育は、学習指導要領に則り行われるものであるが、中学校学習指導要領においては、①知識及び技能が習得されるようにすること。②思考力、判断力、表現力等を育成すること。③学びに向かう力、人間性等を涵養すること。以上の基本方針を示している。

本答申は、文部科学省検定済教科書の中から府中市の21世紀を担う生徒が学ぶにふさわしい教科用図書の選定審議をしたものである。答申の趣旨をとらえていただき、府中市教育が一層充実するよう、確かな学力と豊かな心を育む教科用図書の採択をお願いしたい。

教科用図書調査研究の観点、視点

【社会（歴史的分野）】

観 点	視 点	
(ア) 基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方
	②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
	③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	①	単元の導入における工夫
	②	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	①	単元や資料等の配列・分量
	②	主権者育成のための工夫
(エ) 内容の表現・表記	①	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
	②	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
(オ) 言語活動の充実	①	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

府中市教科用図書選定委員会答申

校種及び種目

校種	中学校
種目	社会（歴史的分野）

教科書選定の観点

- ・基礎・基本の定着
学習課題の示し方
我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
- ・主体的に学習に取り組む工夫
単元の導入における工夫
課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
- ・内容の構成・配列・分量
単元や資料等の配列・分量
主権者育成のための工夫
- ・内容の表現・表記
学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
- ・言語活動の充実
目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫

番号	発行者	各教科書の特徴および選定委員会の意見		
		○特徴	◎最も顕著な特徴	●意見
225	自由社	<p>○見開きごとにタイトルを「平安京と摂関政治」「モンゴル帝国と世界史の成立」等の項目で示している。また、タイトルの下に「どのように?」「なぜ?」など問いかけで追究する課題を示している。さらに、見開きの右ページの下段に「チャレンジ」を設定し、学習課題に対応した学習活動を示している。</p> <p>○主体的に学習に取り組めるように、大項目の導入において、絵図や写真を示し、予告編として単元で学ぶ主な人物と主な出来事を掲載している（1ページ）。また、キャラクターの問いとそれに対する答えが分かるページを紹介し、資料への興味・関心を高めようと構成している。</p> <p>○章立ては古代から現代へと時系列に沿っている。各時代区分によってページ数が異なっている。補充的・発展的な学習の事例数は12である。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真85、絵図78、地図29、図表・グラフ16、文書資料58、年表5、人物42であり、本文の該当箇所に資料番号がルビとして示されており、関連する資料や説明文が示されている。</p> <p>◎まとめ方の種類には、人物カード、人物伝記、地図、歴史用語ミニ辞典、年表、比較表、ひとこと作文、意見交換会がある。また、章末に、その時代についての学習を振り返るための、調べ学習、復習問題、学習のまとめをする活動が示されている。</p> <p>●「ひとこと作文」「意見交換会」等、他者とのやり取りを通して、学びを深めている。</p>		

		<p>くことができるよう工夫されている。</p> <p>●ICT 機器の活用について、他教科等の教科書には掲載のある二次元コードがない。</p>
2	東京書籍	<p>○資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」「世界の記憶」「無形文化遺産」のマークが付いている。また、巻頭の見開きに「日本の国宝・重要文化財」がまとめられている。神話・伝承等に関する事例数は5である。</p> <p>○見開き2ページにわたり、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表を掲載し、資料の読み取りやグループ学習について示している。また、キャラクターの問いにより、章及び各節の学習課題を導くよう構成している。</p> <p>◎A 総ページ304ページ。歴史との対話12、古代44、中世36、近世50、近代102、現代32、その他28である。</p> <p>B 小中一貫教育の視点として、「第1章 歴史のとびら」の「1節 歴史をとらえる見方・考え方」に小学校の学習要領で示された42人の人物や文化財、出来事を振り返る活動が示されており、各単元(章)の導入部でも、小学校社会科で学習した内容を資料や年表で振り返る活動が示されている。</p> <p>C 「地域の歴史を調べよう」で「広島復興と平和への思い」というタイトルで、被爆地である広島戦後の復興について調べる学習が設定されている。</p> <p>○掲載資料の内訳は、写真133、絵図85、地図33、図表・グラフ27、文書資料44、年表5、人物56であり、他分野(地理・公民)や他教科との関連が示されている。</p> <p>○「中世とはどのような特色を持つ時代だったでしょうか」という問いに対して、「政治」「国際関係」「社会・経済」「文化」の四側面から、自分の考えを文章にまとめる。文章にまとめる前に、思考ツールに考えをまとめるように促している。意見交換や、自分の考えの修正の方法を示している。</p> <p>●小学校の学習内容を振り返る活動が示してあり、小中の学習のつながりが意識できる。</p> <p>●広島に係わる教材があり、生徒にとって身近に捉えることができる。</p> <p>●二次元コードを活用し、調べ学習の際などで、時代の流れやその背景をつかみ、イメージを持たせることができる。</p>